NIEワークシート／小学校中学年～高校／社会、総合

名前【　　】

神戸新聞 2021年02月23日 火曜日 面名 朝三社 １３ 31ページ

「気性荒い」秀吉、「陰気な目」の家康

17世紀のイタリア書、人物像紹介

豊臣秀吉は「気性が荒い」、徳川家康は「恰幅が良く陰気な目」―。1683年にイタリアで出版された本に、日本の天下人2人の人物像や肖像画が記載されていることが22日までに、国際日本文化研究センター（日文研、京都市）のフレデリック・クレインス教授らの調査で分かった。江戸時代の鎖国以降も西欧で日本への関心が高かったことを示す重要な史料という。

豊臣秀吉の肖像画

徳川家康の肖像画

（いずれも「著名武将列伝」より）

本は、ナポリの弁護士で文筆家のロレンツォ・クラッソが、16～17世紀に活躍した世界の武将約100人の事績をまとめた「著名武将列伝」。クレインス教授が京都市内の古書店から入手した。

同書は秀吉を「Taicosama（太閤様）」と紹介し「体は小さいが丈夫で気性が荒い」と記述。おい秀次の粛清やキリシタンの迫害から、恐怖政治を敷いた古代ローマ皇帝になぞらえ「日本のティベリウス」と評した。

家康は「Daifusama（内府様）」で「恰幅の良い中背で陰気な目をしている」とし、秀吉の死の際には「顔で悲しみ、心の内では笑いが止まらなかった」と記した。2人の肖像画は帽子をかぶった西洋人風で、イタリアの画家が想像で描いたとみられる。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

①この本は何年に出版されましたか

□□□□年にイタリアで出版された

②この本の題名を書きましょう。

「□□□□□□」

③２人の記述内容を書き込みましょう。

秀吉「Ｔａｉｃｏｓａｍａ（□□□）」

「体は□」

「日本の□□□□□□」と評した

家康「Ｄａｉｆｕｓａｍａ（□□□）」

「恰幅の□」

秀吉の死の際には

「□」